

よくあるご質問について

Q1. 内水ハザードマップとはなんですか？

- A. 大雨時に下水道や水路から水があふれ、内水はん濫が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深を表示したマップです。弘前市では、国で示す時間最大150mmの雨が降った場合にどのように浸水するか、地形的に浸水しやすい箇所を浸水シミュレーションにより予測し、作成しました。

Q2. 想定される最大規模の雨とはどのくらいですか？

- A. 弘前市では時間最大150mm、総雨量317mmを想定しており、これは概ね1000年に1度に降る確率の雨となっています。

Q3. 「弘前市防災マップ」との違いは？

- A. 弘前市防災マップは岩木川・平川・腰巻川等の河川がはん濫した場合に想定される最大規模の浸水想定図、土砂災害特別警戒区域、岩木山火山噴火影響範囲や指定避難所などの情報を示したマップとなっており、内水ハザードマップは下水道や水路からの浸水が想定される区域や想定される浸水深が記載されているものです。

Q4. この内水ハザードマップは水防法の規定に基づくものか？

- A. 今回作成した弘前市内水ハザードマップは水防法の適用となります。そのため、不動産取引時における重要事項説明において、取引対象物件の所在地について説明することが義務化されます。

Q5. 最近の大雨はいつか？

- A. 市内での最近の大雨は、令和4年8月9日からの雨が最も強く、時間最大25mm、日降水量134mmを記録しました。
その後も8月13日にかけて降り続け、総雨量は194mmとなりました。